

女子美東が初V

中学ハンド 学校春季選手権大会最終日 われた。女子は美東が27は、28日、東風平運動公園 17で神森を下し、初優勝。は、28日、東風平運動公園 17で神森を下し、初優勝。の優勝を果した。

クラブ仲間で悲願

ハイライト

女子美東が22年間続いた浦添勢の優勝を阻止し、悲願の初優勝を飾った。登録メンバー15人のほとんどが、小学生チーム・コザクラジュニアの出身。当時は、浦添勢に阻まれ、苦杯を喫することもあったが、今年3月の全国選手権で3位に入るな

常勝浦添勢 23連覇阻む

ど、着実に力をつけてきた。決勝戦では、ポイントゲッター金城菜摘が、神森のディフェンス越しのミドルシュートを要所で決め、11得点。守りも、GK具志堅夏美を中心の堅守で、追撃を許さなかった。前半20分、相手ディフェンスをかわし、12点目を挙げた美東・名嘉優梨香は「東風平運動公園体育館（花城克俊撮影）」

美東	27	15	12	7	10	17	神森
仲西	15	8	5	7	8	10	島松
神森	17	12	9	10	12	15	西島
美東	26	17	12	9	10	17	神森
神森	36	12	24	16	10	26	具志川
港川	43	35	35	35	35	35	浦添
具志川	29	29	28	28	27	27	港川
神森	34	27	27	27	27	27	浦添



前半17分、16点目を挙げる神森・仲石直史

神森圧勝 全国に照準

1月の県新人大会を制し、勢いにのる男子神森が、実力を発揮した。決勝は、準決勝で新人大会準優勝の港川を破った具志川。前半7分までは互角の展開だったが、以降は神森ペースで進み、前半で14点差をつけ、完全に主導権を握った。後半に入ると、控え選手をコートに送り出す余裕も

見せ、1度もリードを許さず、快勝した。チーム最多の8得点を挙げた2年生の池原諸有紀は、3月の全国大会でもスタメン出場するなどチームの中心選手に成長。「先輩が良いパスを出してくれたので決められた」と控えめに語りながらも、「中体連ではもっと確実に点が取れるように、全国優勝したい」と高らかに宣言した。